

事後授業検討会ワークシート【授業評価・事後検討会用】クラスシート・チェック

学級名 〇学部〇年〇組 指導者 (T1)、(T2)、(T3)

◎本時の目標 ●本時の評価 (本時の目標に対する見方・考え方を働かせた学びの姿)

<p>「知識及び技能等」 ◎ 授業者は、あらかじめクラスシートプランの3観点の目標を転記しておく。</p>	<p>「思考力・判断力・表現力等」 ◎ 授業者は、あらかじめクラスシートプランの3観点の目標を転記しておく。</p>	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 ◎ 授業者は、あらかじめクラスシートプランの3観点の目標を転記しておく。</p>
---	--	---

本時の目標に対する児童生徒の学びの姿について記入する。記入の際は、「～していた。」等の書き方で記入していく。学びの姿の見方については例えば、視線や行動、発表やつぶやき等が考えられる。(実際の授業参観、又はビデオ視聴の際に記入する。)

<p>例 ・～しっかり注視していた。 ・～について理解し、正しい答えを書いていた。 ・～の使い方を理解し、正しく扱っていた。</p>	<p>例 ・～をしっかり注目し、好きな方を伝えていた。 ・～で理解したことを別の問題でも応用し、解答していた。 ・～を正しく使い、自分のイメージしたことを表現していた。</p>	<p>例 ・自分から手を伸ばして教師に伝えようとしていた ・課題に自ら取り組み、わからないところは、前に学習したプリントで確認していた。 ・自分の思い通りに表現できない場面でも、何度も粘り強く取り組んでいた。</p>
--	--	--

事後検討会では、学びの姿を根拠に、3観点それぞれの目標は達成されていたか、達成されていなかったかを発表する。

自立活動の視点・配慮について

- ※ ここでは、目標達成したかどうかの検討後、自立活動の視点配慮についての妥当性について確認する。
- ※ 妥当であれば、今後も継続。妥当性が低かった場合は、どのような配慮が必要かを検討する。

■次時への課題(教科の「見方・考え方」をもとに)・授業改善にむけたアイディア

- ※ 次時へ課題を以下の視点で検討する。
 - (1) 目標の妥当性について・・・「思考力・判断力・表現力等」の目標達成のために、「知識及び技能」「学びに向かう力・人間性等」の目標設定は妥当(きちんとつながっていたか)であったか?
 - (2) 目標設定について・・・目標達成ならば次の目標は何か? 目標が未達成なら今の目標は何か?
 - (3) 「見方・考え方」を働かせるための「しかけ」について・・・次の目標達成への「しかけ」のアイディア